

**TSK**

国土交通省・新技術情報提供システム  
NETIS登録番号:HK-150003-VR

PAT

環境適応型落石防止工

# プラスネット<sup>®</sup>

プラスネット<sup>®</sup>・プラスネットハニー<sup>®</sup>



東京製網

# 落石予防工の進化形 プラスネット®・プラスネットハニー®

## 高い耐荷重性

従来のローネット・マイティネットの基本構造、主ロープで連結された4本のアンカーの中心に新たにアンカーを増設することにより各アンカーにかかる負荷を軽減、従来工法の2倍の強度を実現しました。

## 優れた経済性

豊富な規格バリエーションを取り揃えており、施工場所に見合った型式、タイプを選定することができます。

## 土砂部でのアンカーの安定性を大幅に向上

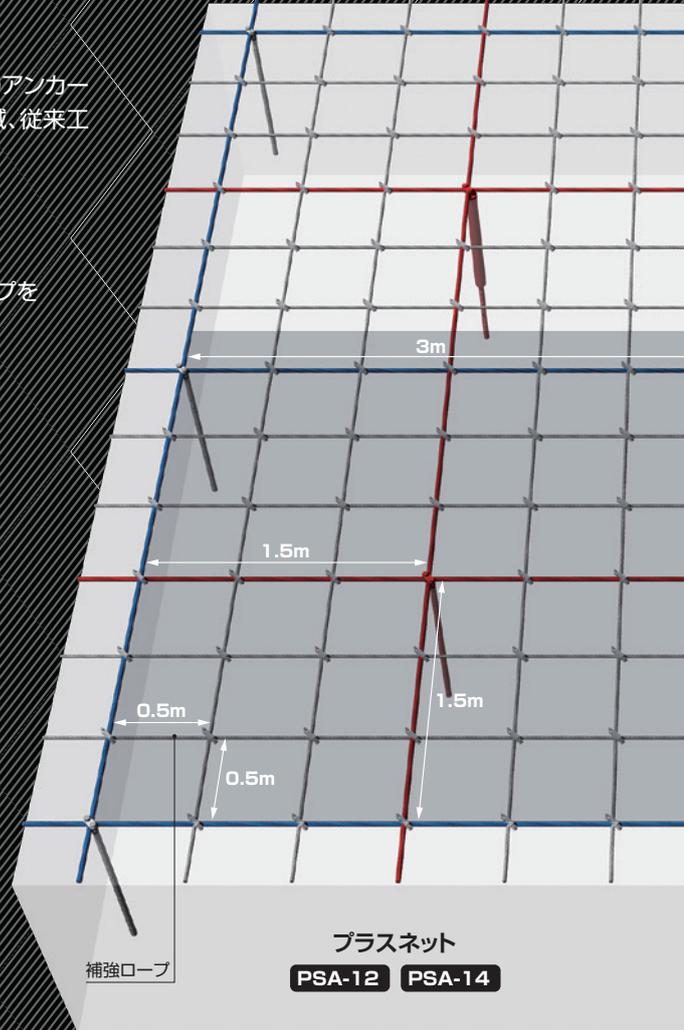
従来の土砂部用アンカーの弱点である引抜方向にも抵抗できる新開発のブレイクアンカーを採用しました。

## あらゆる地盤に対応

エアバンチャーでは施工が困難であった地質でもエアハンマーを使用することにより問題なく施工が行えます。フィード(架台)を固定できれば急勾配にも施工が可能です。

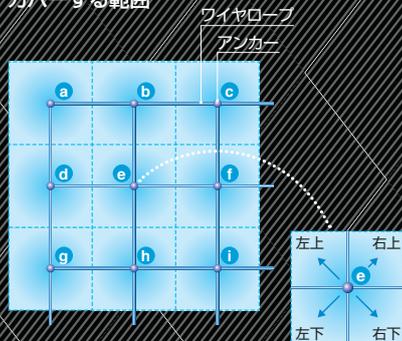
## 優れた密着性(プラスネットハニー)

従来の金網構造を一新し、軽く強固なハニーネットを採用したことで密着性が向上しました。



## プラスネット®・プラスネットハニー®の原理

主ロープのアンカーがカバーする範囲

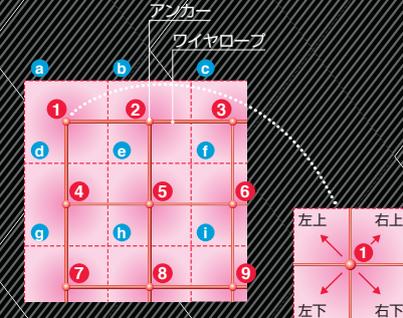


例) eのアンカーが担うエリア

1本のアンカーが担うエリアを青の破線で区切り表します。上図の通り、アンカー1本は左上・右上・左下・右下をカバーしており、重複しているエリアは存在しません。

※ a b c及び d gの主ロープ外側エリアは範囲外であるためその効力はありませんが、ここでは説明のため色付けしています。

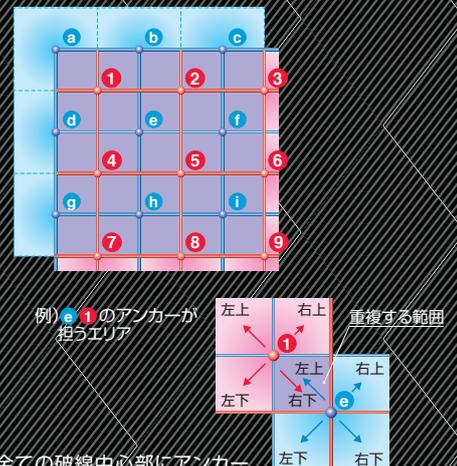
各アンカーの中心に新たにアンカーを増設



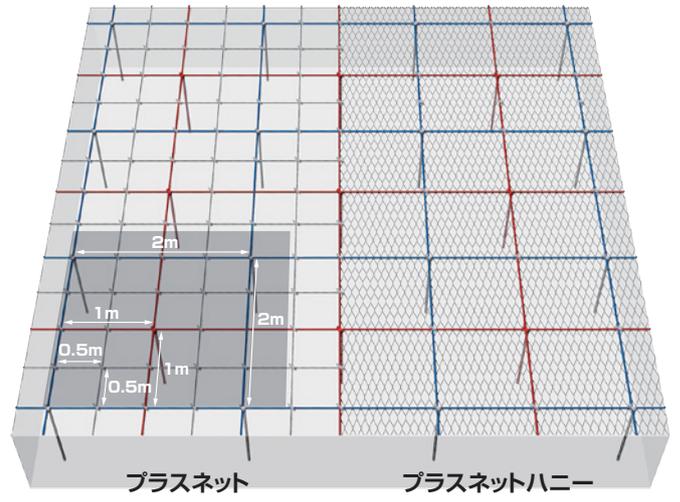
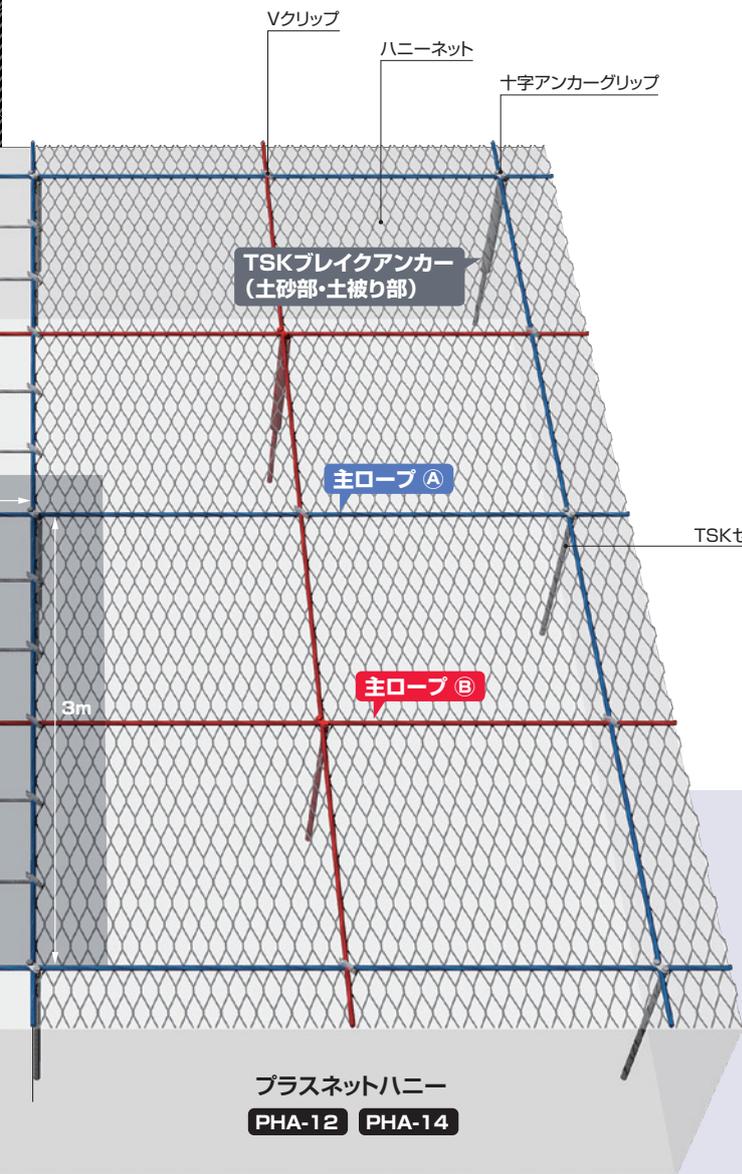
例) 1のアンカーが担うエリア

各アンカーで囲まれた中心に、アンカーを増設します。その1本のアンカーが担うエリアを赤の破線で区切り表します。これにより新たに担うエリアが形成されます。

カバーする範囲が重複することにより2倍の強度を発揮



全ての破線中心部にアンカーを展開することで従来工法に対し2倍の強度を有します。



プラスネット  
PSB-12 PSB-14

プラスネットハニー  
PHB-12 PHB-14

■記号説明

**PSA-12**

主ロープの径 12φ 14φ

ロープ間隔 A:3m B:2m

S:プラスネット

H:プラスネットハニー

※説明のためにロープA,Bと区別し、赤・青で色分けして表記をしています。



プラスネット



プラスネットハニー

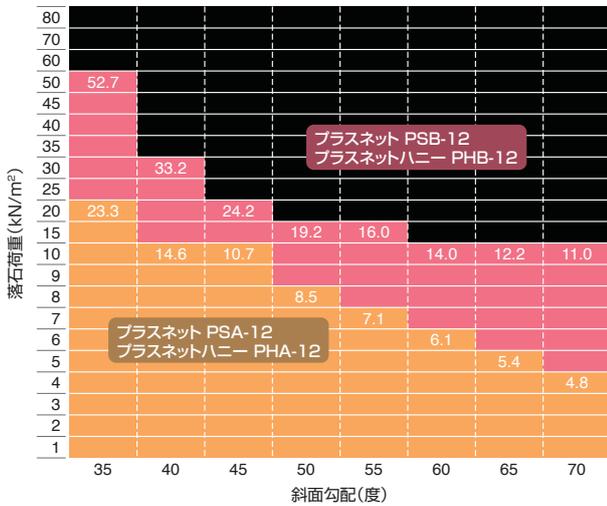


プラスネットハニー

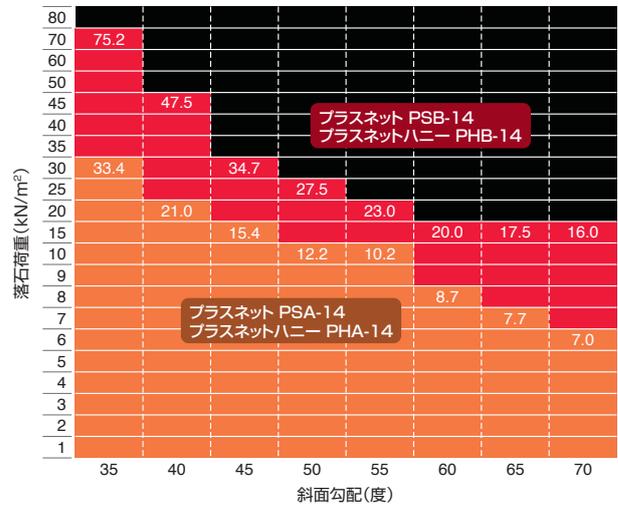
# プラスネット®・プラスネットハニー®の選定

各型式におけるm<sup>2</sup>当たりの許容荷重値を以下に示します。1ブロックの許容荷重は、表の数値にPSA・PHA型は9倍(3m×3m=9m<sup>2</sup>)、PSB・PHB型及びローネット(RpN)及びマイティネット(MN-2×2)は4倍(2m×2m=4m<sup>2</sup>)とした値になります。

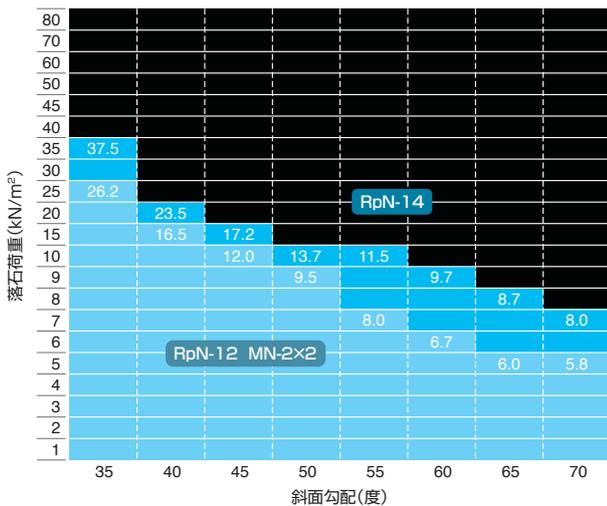
- プラスネット PSA-12・プラスネットハニー PHA-12
- プラスネット PSB-12・プラスネットハニー PHB-12



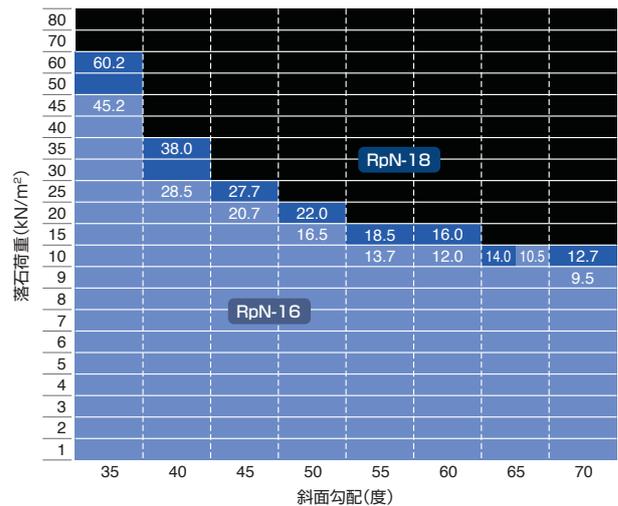
- プラスネット PSA-14・プラスネットハニー PHA-14
- プラスネット PSB-14・プラスネットハニー PHB-14



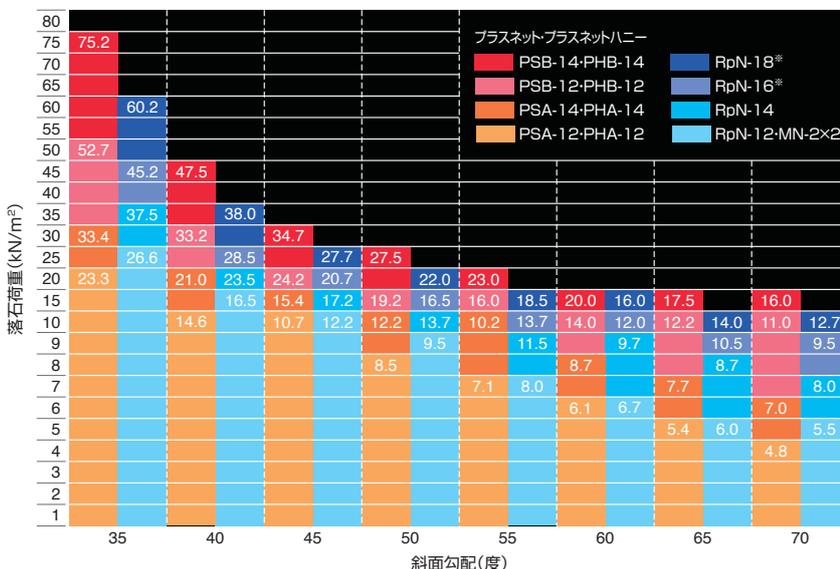
- RpN-12 MN-2×2
- RpN-14



- RpN-16\*
- RpN-18\*



## 各型式における許容荷重値の比較



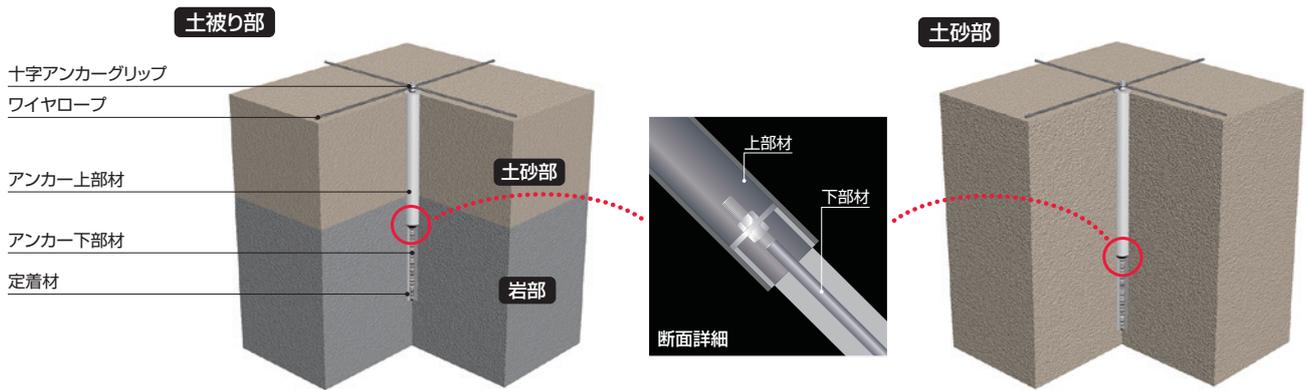
### 参考

落石荷重(kN)	大きさ φ(m)
20	1.2
30	1.3
40	1.4
50	1.6
60	1.7
70	1.7
80	1.8
90	1.9
100	2.0

●石の単位体積重量 γ=26kN/m<sup>3</sup>とする

※RpN-16及びRpN-18は数値上の強度を表したものであり、標準型式としては取り扱っておりません。

TSKブレイクアンカーは、TSKプルストップシステム (NETIS過去登録番号 HK-110033-A) を採用することにより、従来の水平方向耐力はそのままに、土砂部用アンカーの弱点である引抜方向荷重にも抵抗できる信頼性の高いアンカーです。



TSKブレイクアンカーの特長

想定外の崩落がおきても、岩部用アンカーと同様に引抜抵抗力が働きます。  
引抜力に抵抗する定着箇所は地盤を選びません。  
周辺の地盤に影響を及ぼすことなく施工が可能です。

材料●鋼管、異形棒鋼、定着金具  
定着材●セメント系



TSKブレイクアンカーの施工

■アンカー上部材

エアハンマーによりアンカー上部材を掘削しながら打込みます。  
アンカー上部材の施工完了後、さらに下部を掘削し定着材を充填し、アンカー下部材を挿入します。



■アンカー下部材

土砂部の場合



1 ハンマービットの交換

2 下部穿孔

3 定着材注入

4 アンカーシステム挿入

土被り部の場合



1 穿孔用ガイド挿入

2 下部穿孔

3 定着材挿入

4 アンカーシステム挿入

TSKブレイクアンカー耐力表

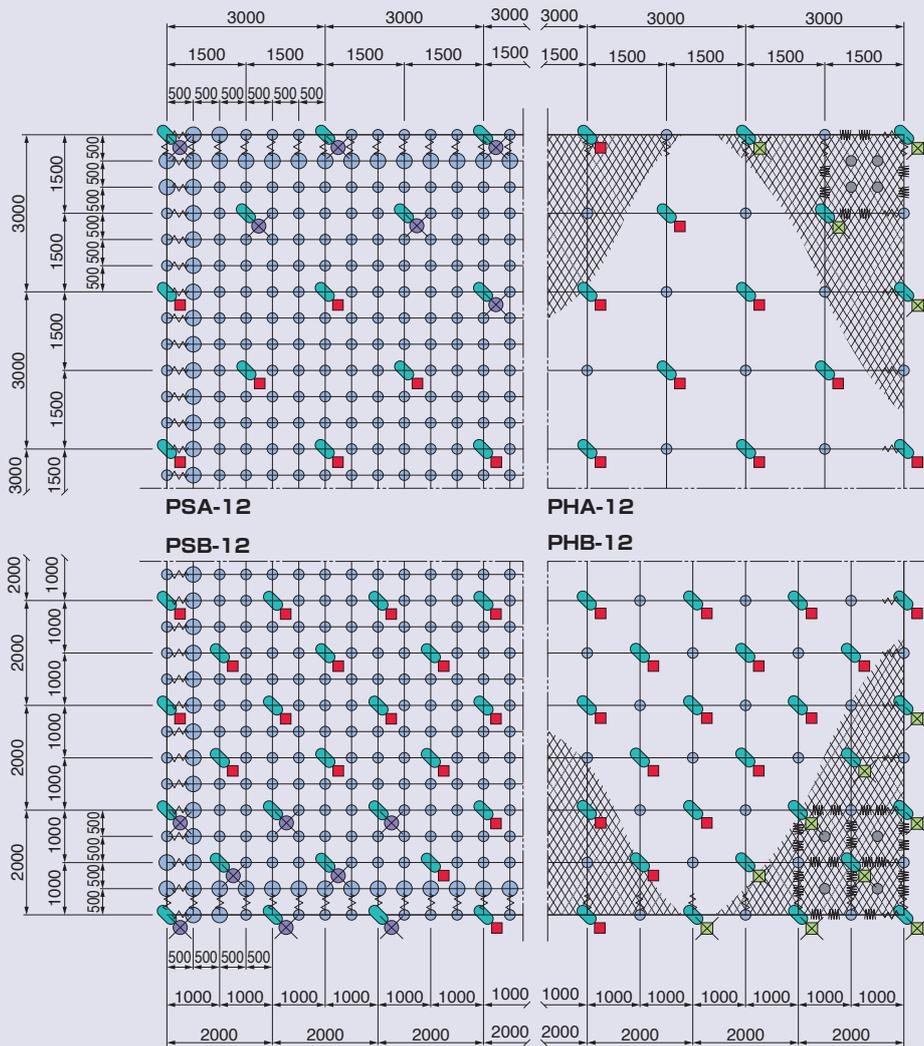
耐力		25kN		35kN	
		土被り部用	土砂部用	土被り部用	土砂部用
アンカー仕様	上部材	114.3φ×4.5-1100	114.3φ×4.5-1400	114.3φ×4.5-1100	114.3φ×4.5-1600
	下部材	D22 (M20)×750		D22 (M20)×1000	

※アンカー耐力は、上部材については「N値=3」の地盤、下部材については、「土被り部用は軟岩」、「土砂部用はN値=30」の地盤における数値です。

条件が異なる場合は技術資料をご参照下さい。

※岩部の場合はTSKセメントアンカーを使用します。

プラスネット・プラスネットハニー 標準構造展開図 (PSA-12, PSB-12, PHA-12, PHB-12)

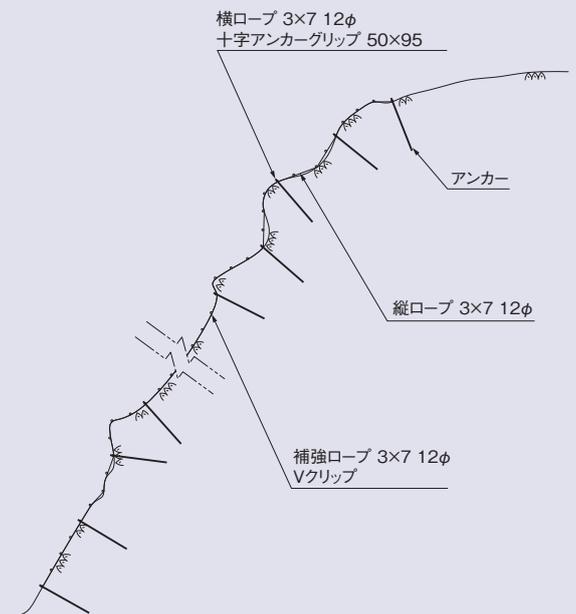


部品明細表

名称	仕様・寸法(mm)	PS	PH	記号
ハニーネット	3.2φ×64×30(50)		●	
主ロープ	3×7 12φ	●	●	—
補強ロープ	3×7 12φ	●	●	—
巻付グリップ(E型)	12φ用-800	●	●	
岩部用 TSKセメントアンカー	D22(M20)×1000	●	●	■
土被り部用 TSKブレイクアンカー 25	114.3φ×4.5-1100 D22(M20)×750	●	●	
土砂部用 TSKブレイクアンカー 25	114.3φ×4.5-1400 D22(M20)×750	●	●	
十字アンカーグリップ	12φ用 50×95	●	●	
Vクリップ	4.0t×109(大)	●	●	
	3.2t×92(小)	●	●	
十手形ピンアンカー	9φ×200		●	
	13φ×300		●	
	13φ×500		●	○
ネジリアンカー	6t×16×500		●	
結合コイル	3.2φ×50(70)×300	●	●	

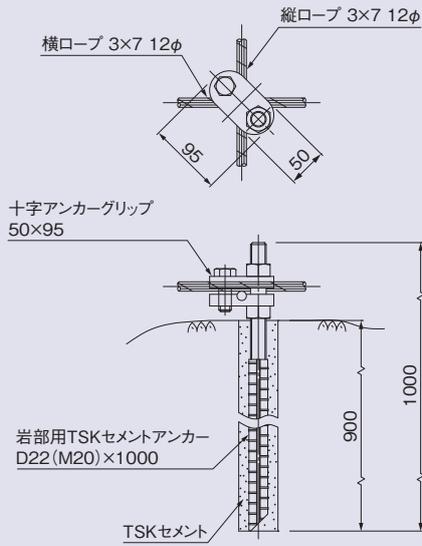
※PS:プラスネット、PH:プラスネットハニーを示します。

横断面図 (プラスネット)

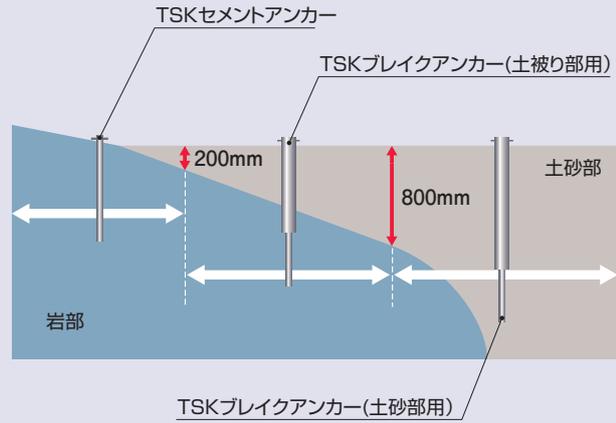


PSA-14, PSB-14, PHA-14, PHB-14は「プラスネット、プラスネットハニー技術積算資料」を参照ください。

岩部用TSKセメントアンカー 十字アンカーグリップ

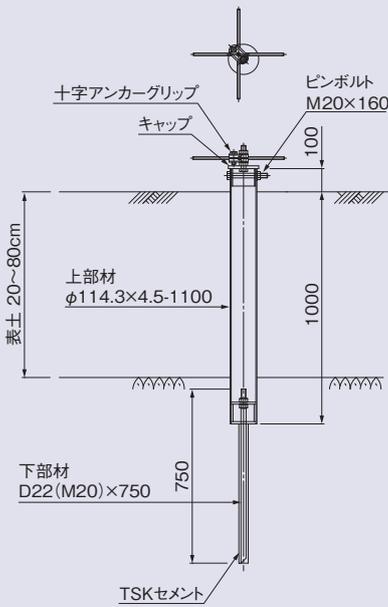


アンカーの選定

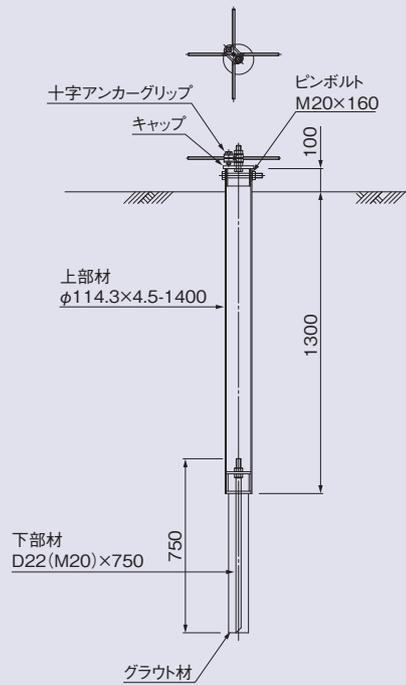


※岩部用セメントアンカーの土被り部(≦200mm)は除去してから施工します。

TSKブレイクアンカー(土被り部用)

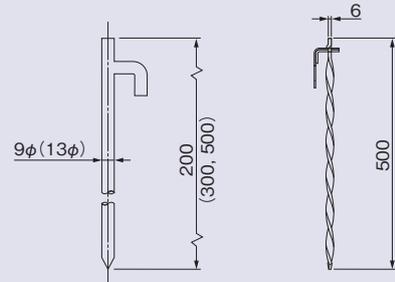


TSKブレイクアンカー(土砂部用)



十手形ピンアンカー

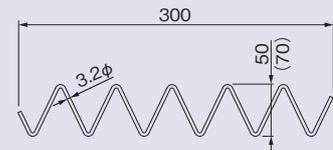
ネジリアンカー



十手形ピンアンカー使用数量

	PHA	PHB
縦ロープ	2本/3m	1本/2m
横ロープ	2本/3m	1本/2m
ハニーネット	2本/m <sup>2</sup>	2本/m <sup>2</sup>

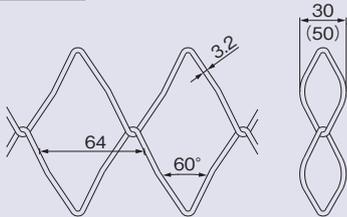
結合コイル



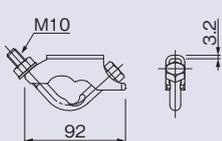
結合コイル使用数量

縦ロープ	1本/m
横ロープ	2本/m
ハニーネットジョイント	2本/m

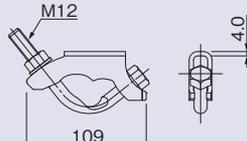
ハニーネット



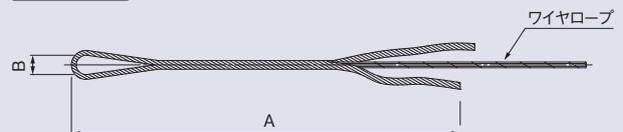
Vクリップ(小)



Vクリップ(大)



巻付グリップ



寸法表

	名称	A	B
巻付グリップ(E型)	12φ用-800	800	40

商標について:プラスネット、プラスネットハニー、ブレイクアンカーは東京製綱株式会社の登録商標です。  
プラスネット:登録5656324 プラスネットハニー:登録5907208 ブレイクアンカー:登録5666343



**本社 エンジニアリング事業部**

〒135-8306 東京都江東区永代2-37-28(湊澤シティプレイス永代)  
TEL.(03)6366-7788 FAX.(03)3643-7550

支店●札幌・盛岡・仙台・名古屋・大阪・九州 営業所●新潟・長野・北陸・広島・鹿児島  
エンジニアリングセンター●東日本・関西・北九州

<https://www.tokyorope.co.jp>

●代理店

支店・営業所の詳細

<https://www.tokyorope.co.jp/company/office.html>

